

WIRED

GQ JAPAN 2014年4月号増刊


**BIG IDEAS,
SMART INNOVATION,
BRIGHT FUTURE**

ワイアード
VOL. **11**
本体価格 ¥457
WIRED.jp

WIRED大学
21世紀の教科書

「新しい世界」を考える42冊



IDEAS + INNOVATIONS

特集 **イノベーションは世界を救う**

明るい未来のためのテクノロジー&デザイン

ビル・ゲイツ「イノベーションと慈善の交差点」
貧困・疫病・災害と戦うスマートツール&スマートマップ
アフガンを治癒する「史上最大の医療作戦」

*\$o here I go, it's my shot.
Feet, fail me not.
This may be the only opportunity
that I got.*

さあ、勝負のとき。脚よすくまないでくれ。
これが、きっと
最初で最後の(挽回の)チャンスなんだ。

➔ **Eminem**
Lose Yourself, 2002

「マッキンゼー入社2年後、大失敗を繰り返そうになってクビ寸前に。そこで思いきって、上司から指示されたのは別案のプレゼンをしたら、それが当時のクライアントの責任者に認められて新プロジェクトが立ち上がった。初めての成功体験でした。そのとき支えてくれたのがこの歌詞です。エミネムが『オレにはラップしかない。ここで一発勝負してやる』って黒人ラッパーに勝負を挑む、そんなシーンに自らを重ね合わせて、めちゃくちゃ聴いてましたね」



*Please \$tart doin' you,
I've been doin' me.
And I'm a \$tapse in my city,
you can never ruin me.*

肩書きなんて捨てて、自分ブランドで歩み始める。
オレはずっとそうしてきた。
そうして自分のフィールドの象徴になった。
そんなオレをもう誰も止められない。

➔ **Drake**
I'm still fly, 2009

「マッキンゼーの役員になったばかりのころ、日本では本当にコンサルって認められていないって思ってたので、役員会議で『コンサルのやり方を変えるべきだ』って提案したんですが、誰ひとりそれを認めてくれなかった。だったら自分でやるしかないなって、心の中で思いながら聴いてたのがこの曲。結局2009年に独立するんですが、この当時のドレイクって実はデビュー前なんですね。だからこそこの歌詞に強く共感したんだろうと思います」



ドレーとJay-Zがオレのビジネスの態度だよ?

FEEL DA RHYME

ヒップホップはスタートアップだ!

気鋭コンサルがラッパーの歌詞に学んだ
ビジネス&起業の奥義とは? (本人による超訳つき)

WIRED編集部との共著『ぼくらの新・国富論』を上梓したばかりの並木裕太は、実はLA育ちの超ヒップホップフリーク。彼を起業へと導いたのは、ラッパーたちからの熱いメッセージだった!?

並木裕太 YUTA NAMIKI

フィールドマネージメント代表取締役社長。1977年生まれ。慶應義塾大学卒。2000年マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。06年ペンシルヴェニア大学ウォートン校でMBA取得後、08年に最年少で役員に就任。09年に新たなコンサルのかたち「ステップゼロ」を標榜しフィールドマネージメントを設立。

「独立して3年後、初めてマッキンゼー時代のコネがないところで大きな仕事のチャンスが巡ってきたんです。それが日本航空で、コンペの相手がマッキンゼー時代に競合していたトップ外資コンサルでした。最初は相手のことばかり気にしていたんですが、目を覚まさせてくれたのがこの曲です。リリース当時はDr.ドレーもヘッドフォンブランドを巨額で売却してビジネスに成功していたので、たぶんこんなことを考えていたんでしょうね」

*Don't be worried
'bout the next man*

- make \$ure your business tight.

競争相手のことは気にすんな、自分の存在意義をタイトにしろ。

➔ **Dr. Dre**
Get Your Money Right (feat. The Game & Jay-Z), 2007

Make a business for your\$elf, boy, Set Some goals.

*Make a fat diamond
out of dusty coals.*

自分という存在で食っていけるようになるんだ。それを目標にしろ。
そして、ありふれた日々をダイヤモンドのようにキラキラの毎日に変えるんだ。

➔ **Outkast**
B.O.B.(Bombs Over Baghdad), 2000

「就活時代からマッキンゼー入社間もなくのころによく聴いていた曲です。それまで目指していたプロ野球選手になる夢を大学であきらめ結局就職したけれど、本当にサラリーマンやっていいの? そういう葛藤でもやもやしていたときに、心の中にこのリリックがすーっと入り込んできたんです。狭いコンサルの世界でリスペクトできない先輩に怒られても、自分は違う、自分という存在で生きていくんだって、強く勇気づけられましたね」

*I'm nota
businessman,
I'm a business,
man! \$*

*In front of you,
it's foul what this money could do.
Cash corrupts the loyal.*

中途半端な成功に過信するな。
つくり上げた大切なものは脆くも崩れ去る。

➔ **Nas**
A Queens Story, 2012

「会社を立ち上げて3年経った2012年ごろは、大手の取引先も増えてビジネスも順調に成長していたし、投資した柴田陽の会社、スポットライトも軌道に乗ったりと、設立当初のアントレプレナー精神がだいぶ薄れてきていました。そんなときにこの曲を聴いて、『調子こいてんじやないぞ』って言われてるなって。言うなれば自分に対する戒めの曲ですね。そんなわけで、結局いまも風呂や車内でヒップホップばかり聴いてる毎日です」

オレはサラリーマンで終わらない。
オレはアントレプレナーなんだ!

➔ **Kanye West**
Diamonds from Sierra Leone (Remix) (feat. Jay-Z), 2005

「MBA取得のためアメリカに留学していたころ、当時東北楽天ゴールデンイーグルスの立ち上げも手伝ってたんですが、三木谷さんをはじめとした強烈なアントレプレナーの方々と一緒に仕事をし、大きな刺激を受けました。日米を往復する機内でこの曲を聴きながら、『自分がビジネス』というJay-Zのラップ(カニエ・ウエストの曲だがこの歌詞はJay-Zのパート)に感化されて、自分もアントレプレナーになりたいという思いを強くしていったことを覚えています」



**シリコンヴァレー随一のヒップホップ好き
VC、ベン・ホロウィッツの頭の中**

*Go 'head, \$witch the style up.
And if they hate then let 'em hate
and watch the money pile up.*

先輩や体制に遠慮なんかすんな。
自分のスタイルをワンランク上げろ。
ひがむような才能のないヤツはほっとけ、
世がおまえを評価してくれるはずだ。

➔ **Kanye West**
Good Life, 2007

「MBAを取得してマッキンゼーに戻ったんですが、会社の物差しにのっとったビジネスなんて全然面白くないと思って、服装などのルールを全部無視して、ジャケパンに柄シャツとかで仕事してたんです。そしたら意外とそれがクライアントの重要人物に覚えてもらうきっかけになって仕事が次々入り、2008年に史上最速で役員になったんです。先輩と同僚にはひがまれましたが完全無視。この歌詞がぼくを正当化してくれました(笑)」

フェイスブック、ツイッター、Pinterestなど、大成功を収めたテックスタートアップへ投資をしてきたVCファーム、アンドリーセン・ホロウィッツの共同創業者ベン・ホロウィッツは、ヒップホップに関してVC業界の誰よりも詳しい男だ。彼が普段ビジネスについて考えていることをつづったブログには、ラップの歌詞が毎回投稿の冒頭に掲げられている。投稿の内容は、ほとんどヒップホップを聴いているときに思ったものなのだという。「ラッパーは、音楽の歴史上初めて、起業家精神をもったアーティストだと思う」。2012年にハーヴァード大学のビジネスとヒップホップをテーマにした公開講義で彼は語る。「にもかかわらず、昨年われわれが契約した6,000社のうち、創業者が黒人だった企業はわずか2社しかなかった。テクノロジーと黒人の間には大きな壁があると感じている。だからヒップホップという共通の言語をもつことができれば、もっと黒人にとってやりやすくなると思っている。一昔前まで、最先端のテクノロジーは研究開発に多くのお金をかけられる政府機関から生まれていた。だが安価で開発できるいまは、むしろ意思決定の早い個人やヴェンチャーから生まれる。ジャズやブルースなどの音楽から、ダンスやファッションに至るまで、アメリカを代表するカルチャーの多くを生み出してきた黒人は、個人が最先端を生み出すビジネスの世界において、とても重要な存在になるとホロウィッツはみている。「特にヒップホップは両者(テクノロジーと黒人)を完璧に翻訳できるライトハウス(灯台)になれる」と説く。